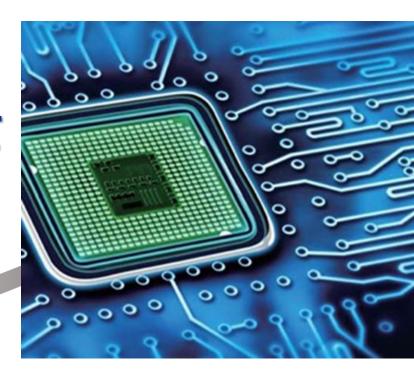




中期経営計画 (2019年 4月-2022年 3月)

## 進捗と今後の見通しについて

2021年 12月 15日



株式会社 図 研

東証一部上場 証券コード 6947

# 現中期経営計画の総括と次期計画への指針

### 現中期経営計画の総括

- ① 最終年度、コロナ禍影響から力強い回復 過去最高売上、利益が射程に
- ② 事業領域拡大に向けた投資、体制強化を実行 MBSE: 将来のコア事業に成長させる布石
- ③ **社会・市場環境変化に組織を迅速に対応** 在宅勤務制度恒久化、 オンライン営業インフラ構築



### トピックス

### **日経 XTECH**

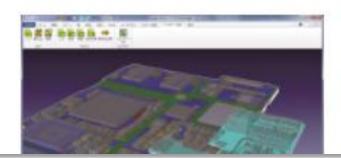
#### パナソニック、日本と中国の拠点でボード設 計EDAを図研に乗り換え

小島 郁太郎 日曜クロステック/日禄エレクトロニクス

2021.10.18

パナソニックは、エンターテインメント&コミュニケーション事業部イメージングビジネスユニット(以下、イメージングBU)において、ボード(ブリント基板)設計用EDA (Electronic Design Automation) システムを関研の製品に乗り換えた。関研が2021年 10月14日に発表した(ニュースリリース)。関研によれば、イメージングBUは、関連 以外のEDA製品を利用していたが、今回、全面的に関研製に切り替えた。

イメージングBUが採用したのは、ボード設計用£DAシステムの「CR-8000シリーズ」"と設計データ・マネジメント・システム「DS-CR」である。これらを、イメージングBUの日本国内および中国(厦門)飲点に配した。回研の受注軟類は約1. 円である。



パナソニック(イメージングBU) が図研のCR-8000/DS-CR に全面切り替え



### 新中期経営計画(3か年)策定に向けた指針

#### 図研グループの事業に影響を及ぼす中長期的な市場トレンド

・脱炭素経済へのシフト・人口構造の変化・地政学的リスク、自然災害リスクの増大とサプライチェーンの動揺・ポストコロナの新たな社会ニーズ増大

「<mark>確実に増大する</mark>エンジニアリングITニーズ」+「<mark>従来の延長線上ではない</mark>市場の変化」

#### 図研グループ次の3か年の課題

- 株式市場の要請に準拠したガバナンス体制の確立(プライム市場選択) 変化に機敏かつ柔軟に対応できる経営体制を整備
- 製造業のスマート (知能) 化を促進するソリューションへの開発投資強化 モデルベース開発、AI技術、ナレッジ活用などの適用 (新製品+既存製品の機能拡張)
- グローバル視点で利益最大化を目指せる経営・開発・営業体制の構築
- 働き方改革(対外・対内)への対応拡充

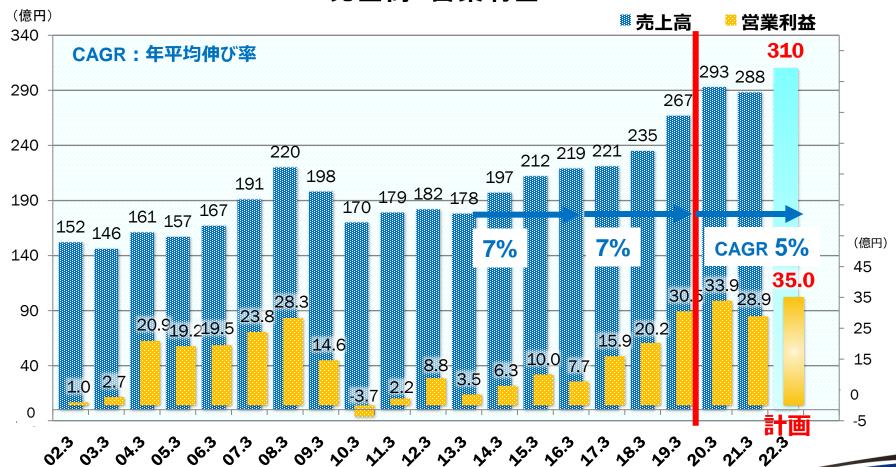


モノづくりの"総合コンサルティングカンパニー"へ



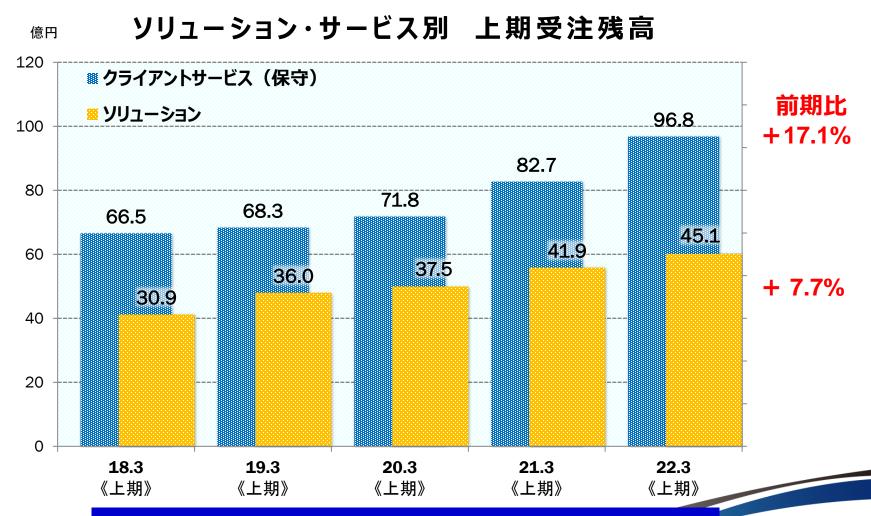
### 業績の推移(2002-2022計画)

売上高・営業利益





### 上期受注残高の推移(2018-2022)



受注残高の水準は今上期末時点でも過去最高を維持



### 製品分野別 上期受注残高

受注残高 (百万円)	21.3 《上期》	22.3 《上期》	増減	前期比
基板設計ソリューション	1,110	1,084	<b>▲</b> 26	▲2.4%
回路設計ソリューション	1,427	1,624	+197	+13.8%
ITソリューション	1,650	1,804	+154	+9.3%
クライアントサービス	8,267	9,679	+1,412	+17.1%
計	12,456	14,193	+1,737	+13.9%

欧州向けWH製品、セキュリティー製品等の保守受注により、受注残高増加



### 地域別 上期受注残高

受注残高 (百万円)	21.3 《上期》	22.3 《上期》	増減	前期比
日 本	9,560	11,044	+1,484	+15.5%
欧 州	1,252	1,463	+211	+16.9%
米 国	1,182	1,159	▲23	▲2.0%
アジア	460	525	+65	+14.2%
計	12,456	14,193	+1,737	+13.9%

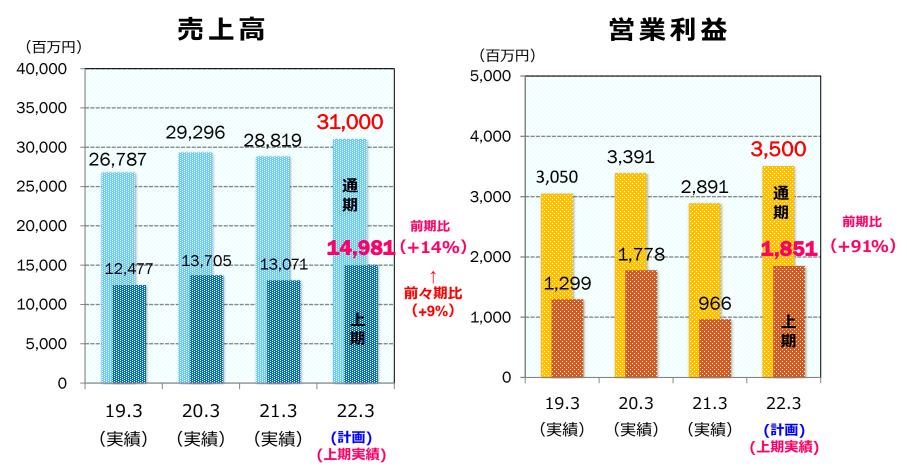
#### 各地域ともにビジネスの順調な回復を示している





### 上期実績と今後の見通しについて

### 中期売上・利益目標と当上期実績



※ 中期経営計画の前提為替レート 1USドル = **108**円 1ユーロ = **120**円

### 売上は、コロナ前20年3月期までの成長軌道に



### 最終年度見込の営業利益増減要因

人件費增& 原価率変動 研究開発費増 売上増 + 1.0億円 ▲ 6.0億円 その他経費増 ▲ 4.0億円 +15.0億円 35.0億円 28.9億円 +6.1億円 22年3月期【計画】

21年3月期

### 上下半期別 売上·利益

売上高 (百万円)	上期	下 期	通期
20年3月期	13,705	15,591	29,296
21年3月期	13,071	15,748	28,819
22年3月期	14,981	16,019(計画)	31,000 (計画)

営業利益 (百万円)	上期	下 期	通期
20年3月期	1,778	1,612	3,391
21年3月期	966	1,925	2,891
22年3月期	1,851	1,648 (計画)	3,500 (計画)

前下期(21.3月期)はコロナ影響下での過去最高



### 【参考】 ソリューション別 上期販売実績

売上高 (百万円)	21.3 《上期》	22.3 《上期》	増減	
基板設計ソリューション	1,843	2,073	+230	デザイン
回路設計ソリューション	2,674	3,288	+614	・オートメーション
ITソリューション	2,922	3,207	+284	データマネジメント
クライアントサービス	5,630	6,411	+780	クライアントサービス は上2つに分類
計	13,071	14,981	+1,910	



### 【参考】 各ソリューションに含まれる製品について

【各製品区分に含まれる主な製品】

短信等での製品区分

#### 含まれる主な製品

デザインオートメーション CR-8000 Design Force 基板設計ソリューション CR-8000 DFM Center

プリント基板

回路設計ソリューション

ワイヤハーネス

CR-8000 DFM Center CR-5000 Board Designer

CR-8000 Design Gateway
CR-8000 System Planner
E3.series
Cabling Designer
Harness Designer

データマネジメント

ITソリューション

DS-2, visualBOM Knowledge Explorer Fortigate (NWセキュリティ)

上記各分野に振分け

クライアントサービス他

(各製品の保守サービス)



### 製品分野別 上期の販売実績と前年対比

製品分野(百万円)	21.3 《上期》	<b>22.3</b> 《上期》	増減	
デザイン・オートメーション	8,197	9,381	+1,183	+14.4%
(内、ワイヤハーネス設計)	(2,345)	(2,846)	+501	+21.4%
データマネジメント	4,873	5,600	+726	+14.9%
売上高 計	13,071	14,981	+1,910	+14.6%



### 製品分野別 上期販売実績



### EDA(電子機器設計)

- 前期よりずれこんだプロジェ クト再開とリモート環境用 オプション販売増
- 自動車関連、電子部品などを中心にイノベーション目的の投資意欲の底堅さは継続

#### ワイヤハーネス設計

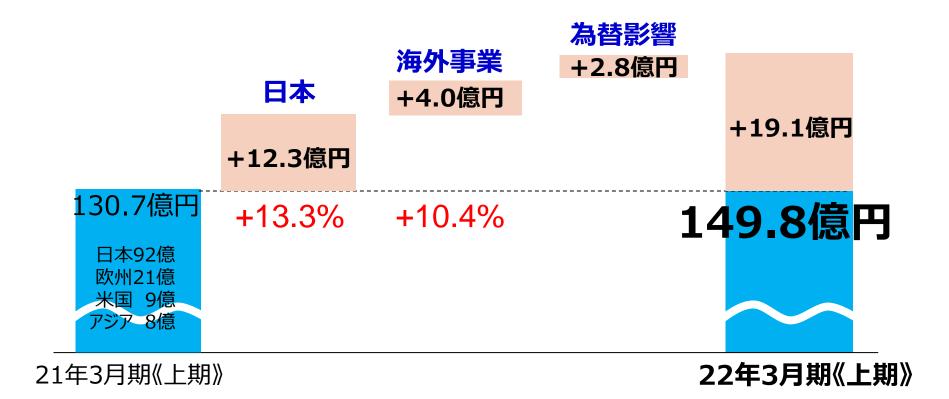
- 世界的な生産設備向け 需要の好調を背景に特に 欧州でのE3販売が回復
- 日本市場も回復基調だが やや現状は動き鈍い 販 売の中心はクルマ・特殊 車両向け増設が中心

■ コロナ禍影響のPDM製品、 セキュリティ関連ソリューショ ン(関係会社取扱)の 需要増が継続

データマネジメント

■ 設計環境(インフラ)強 化の重要性認識が高まる

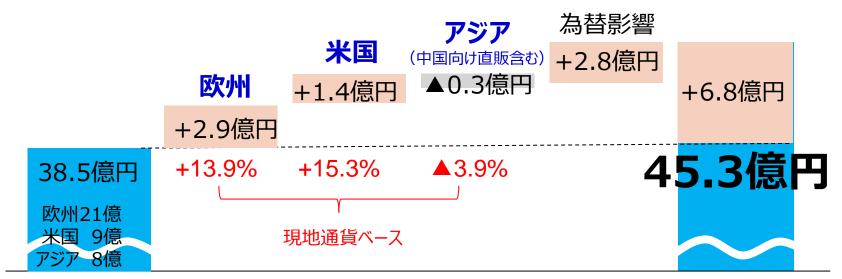




### 海外地域別

#### 上期販売状況

21.3期上期累計期間の平均為替レート 1USドル=107円 1ユーロ=121円 22.3期上期累計期間の平均為替レート 1USドル=110円 1ユーロ=131円



#### 21年3月期《上期》

#### <u>欧州</u>

- 産業機械E3顧客を中心 に中断していた案件が再 開
- 全般にビジネスは通常の 状態に戻りつつある。新規 顧客獲得の営業活動も 本格化

#### 米国

- TBL案件中心であり、 ベースとなる収益は安定
- 新規受注活動も徐々に 本格化しつつあり、販売は 上向き

#### 22年3月期《上期》

#### アジア

- 中国は特定の大手顧客との商談状況が影響して前期比では低調。今後顧客基盤の多様化が重要
- 中国以外のアジア各地域 は経済活動順調に回復し、 インド以外販売はプラス



### 事業分野の今後の見通しについて

- 世界的に製造業の開発・製造投資は回復基調が継続 大手主要顧客中心にエンジニアリングチェーン高度化・最適化の 投資意欲は継続見込
- 「働き方改革」、「DX」など、新たなテーマでの投資も継続
- MBSEソリューションは、自動車関連に加え、他分野からも引合い 増加
- 来期以降の本格的な拡販に向け、今期末自動車電装用E/E (電子・電気)設計新製品投入



### 利益還元の方針



成長投資

安定的な 利益還元

> 健全な 財務基盤

- 1987年の上場以来、年換算で1株当たり10円以上の配当を継続
- 2008年以降、段階的に増配を実施し、2021年3月期の期末配当は 15円となり年間30円の配当
- 2022年3月期は年間32円を予定
- 業績や経営環境等を勘案し、適宜、最も効果的な株主還元策を実施

「累進的配当政策」を実行・継続





### 図研について【ご参考】

図研グループのDX特設ページ https://www.zuken.co.jp/dx/



### 図研について



### 株式会社 図研 (ZUKEN Inc.)

**設立:** 1976年(昭和51年)12月17日

**資本金:**101億1,706万5千円

**従業員:** 単体435人 連結1,479人

(2021年9月末現在)

東証1部上場(証券コード6947)

- 世界市場でシェアを持つ 日本のエンジニアリング ソフトウェア・ベンダー
- EDA業界で40年以上の歴史 (健全な財務基盤を維持)
- 自社開発に加え、提携、M&A等で機動的に技術を獲得



### 沿革

1976.12	(株) 図形処理技術研究所として設立
1978.06	国産初のプリント基板設計用CAD/CAMシステム「クリエイト2000」を開発
1983.11	米国にZuken America Inc. (現・Zuken USA Inc.) を設立
1988.01	CADの新システム「CR-3000」を開発
1991.10	EDA企業として初めて株式を東証2部に上場
1992.01	ドイツにZuken Europe GmbH(現・Zuken GmbH)を設立
1992.01	韓国ソウル市にZuken Korea Inc.を設立
1992.08	シンガポールにZuken Singapore Pte. Ltd.を設立
1994.04	EDA垂直統合ソリューション「CR-5000」を開発
1994.06	レーカル・リダックグループ (11社) (英)の全株式を取得
1994.09	東証1部へ指定替え
2000.03	インケイシス社(独)の全株式を取得
2002.03	自動車用ワイヤハーネス設計環境の提供開始
2002.06	中国上海市に上海テクニカルセンターを設立
2004.02	E&E業界に特化したPLMソリューション「ePLMプラットホームDS-2」発表
2005.08	台湾にZuken Taiwan Inc.を設立
2006.05	CIM-TEAM社(独)を買収
2007.06	CATIAV5をベースとした「V54EE」を発売

2009.06	PLMソリューションの新製品「PreSight」を発表
2010.05	ラティス・テクノロジー (株)と資本提携、トヨタ自動車(株)に次ぐ第二位の株主に
2011.06	BOMと超軽量三次元フォーマットXVLを統合した「visual BOM」を発表
2011.01	次世代電子機器設計システム「CR-8000」を世界同時発表
2013.09	アメリカ、シリコンバレーにZuken SOZO(創造)Centerを開設
2014.08	ドイツにグローバル・オートモーティブ&トランスポーテーション・コンピテンス・センターを開設
2014.12	東洋ビジネスエンジニアリング(株)(現・ビジネスエンジニアリング(株))と資本業務提携
2015.02	(株) ダイバーシンクを設立
2015.03	インドにZuken India Private Limitedを設立
2015.07	(株) ワイ・ディ・シーの「CADVANCE事業」(電気系CAD・PDM関連事業)を継承
2016.04	プリサイト事業部を分社化し、(株)図研プリサイトとして発足
2017.12	アルファテック(株)(現・図研アルファテック(株))の全株式を取得
2019.08	Vitech Corporation(米) (現・Zuken Vitech Inc.)を全株式を取得
2019.10	図研モデリンクス(株)を設立



### 拠点および国内関連会社

23

本社·中央研究所 横浜市都筑区

**国内拠点** 横浜、大阪、名古屋

海外拠点 アジア 5 か国、欧米 8 か国

国内関連会社 8 社 (図研テック・図研ネットウェイブ・図研エルミック・図研プリサイト・図研アルファテック・ビジネスエンジニアリング・他 2 社)



### 図研グループ



▶ 図研テック

技術サービス

(モデルベース開発支援含む)

MODELINX

海外法人 欧州 北米

アジア

設計·製造連携

ナレッジ・AI

DiverSync

ZUKEN The Partner For Success 3Dメカ設計

**BIM** 

**Alfatech** 

b-en-g

まっ先に、めざす先。

PreSight

セキュリティ

ストレージ

通信

組込みS/W





#### く注意事項 >

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれています。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。したがって、実際の業績等はこれらの影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。実際の業績等に影響を与えうるリスク・要素には、各国の経済情勢、顧客企業の設備投資の動向、市場の需要動向、製品の開発状況、他社との競合、為替レートの変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

なお、本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する現在の推定を表すものではなく、当社グループが事業戦略を遂行することにより達成しようと努める目標を表すものであります。



### The Partner For Success **ZUKEN**





#### お問い合せ先

#### 株式会社 図 研

コーポレートマーケティング室 横浜市都筑区荏田東2-25-1 電話 045-942-1511 (代表)